

△▼第83回定期全国大会 決定事項を申し入れ▼△

《高松支部》 フェリー・旅客船の現状と船員政策の重要性を説明

高松支部は、第83回定期全国大会決定事項に基づき、管轄する地方自治体と各県議会、市議会へ申し入れを実施し、フェリー・旅客船の現状を説明するとともに喫緊の課題である船員職業後継者確保のためには早期の船員政策実現が重要であることを訴え、各申し入れ事項に対する理解を求めた

■各地方自治体・議会のご対応者

-香川県- 池田知事

香川県における海運、特にフェリー・旅客船の重要性と厳しい現状について確認したとし、具体的支援について対応を検討したい。架橋料金収受業務の経緯について改めて認識したとの見解を示した。

-香川県議会- 高城議長 新田副議長 山本悟史県議会議員

フェリー・旅客船における物流と人流への貢献に謝意を述べられ、海運の重要性を理解するとし、県と連携した対応を行いたい。

-高松市- 中林副市長

フェリー・旅客船の重要性については認識しており、海事思想への取り組みや、フェリー・旅客船への支援について、高松市として出来得る対応を検討したい。

-高松市議会- 佐藤議長 白石副議長

フェリー・旅客船は市民に必要な海上交通手段であり、市行政と連携を図り対応していききたい。

■上記ご同行者 組合政治参与 木村篤史香川県議会議員(当時)・中西俊介高松市議会議員

-徳島県- 徳永県土整備部副部長 地面次世代交通課長

次世代の船員確保・育成については、実施しているイベントを継続し、より子どもたちが海に関心を持てるよう取り組みたい。 イベント：徳島科学技術高校の実習船による体験航海など

-徳島県議会- 大屋議事課長

-徳島市- 安土地域交通課長

住民税減免については、公平性の観点から難しいが対応する自治体が増えていることも認識したので今後も状況を注視していきたい。

-徳島市議会- 都築議会事務局長

■上記同行者 南海フェリー担当の佐藤宗昭大阪支部長、南海フェリー株式会社の佐々木亮太組合員